

例会は4月1日です 13:00~矢臼別D型ハウス

4月例会は通常の第1木曜日、1日にやります。2月は7人、3月は8人と、一桁の出席が続いています。4月例会は二桁の参加で、総会(5/22に予定)を含め春以降の活動についていろいろ話をしたいと思います。よろしくお願ひします。

深津副会長、道新記事(3/30)に登場

3月30日の北海道新聞釧根版に、深津副会長の活躍が載りました。(右)

ご覧になった方もいると思いますが、改めてご紹介します。

なかなか貴重な写真なのだそうです。

映画「矢臼別物語」試写会別海で8人

諸都合で延期となっていた別海での試写会が3月21日に行われました。

感染防止に十分気を付けながら8人でやりました。

慣れないオンライン交流会

3月13日には日本平和委員会主催の「地域活動交流会」、27日には道安保破棄実行委主催の「基地問題交流会」が、ZOOMを使ったオンライン交流会として開催されました。13日は上出雅彦会長、27日には中村事務局長が報告を行いました。慣れないリモート会議で緊張もし、十分な交流ができたかな?と思っていますが、コロナ禍で、使いようによっては大きな力を発揮するのではと思いました。

厚岸町の山林に積もった雪の中で丸まって冬眠するコテングコウモリ (深津恵太さん提供)



厚岸で深津さん 冬眠中の姿撮影

【厚岸】釧路市のアウトドアガイド深津恵太さん(43)が町内の山林に積もった雪の中で冬眠するコテングコウモリを撮影した。専門家によると、冬眠中の写真は貴重だという。

深津さんは23日、環境調査のため山林を歩いていたらコテングコウモリを見つけた。比較的温かい日で雪解けが進み、斜面に空いていた直径約5センチの穴の中をのぞくと、薄茶色の動物が丸まっていた。動物が目覚めかけ体を動かすと、羽が見えたため確認した。

(中野訓)

コテングコウモリ目覚めはまだ?

コテングコウモリと分かった。道東コウモリ研究所(オホーツク管内大空町)の近藤憲久さん(68)によると、コテングコウモリは羽を広げると20センチほど、体重6センチほどの小形のコウモリで、雪の中で冬眠する珍しい生態が特徴的。道央では冬眠中の個体が見つかり撮影されたことはあるが、「道東では初めてではないか」とみる。

深津さんが眺めていると、目覚めかけたコテングコウモリは再び丸まって眠りについた。深津さんは「雪の中でけなげに生きている姿を見て応援したくなった」と話している。